

平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年3月31日

上場会社名 株式会社 ウッドフレンズ 上場取引所 東  
 コード番号 8886 URL http://www.woodfriends.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前田 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 伊藤 嘉浩 TEL 052-249-3504  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月5日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨)

1. 平成29年5月期第3四半期の連結業績（平成28年6月1日～平成29年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	20,143	2.8	647	93.2	465	172.1	283	411.0
28年5月期第3四半期	19,596	△1.0	335	—	171	—	55	—

(注) 包括利益 29年5月期第3四半期 322百万円 (266.5%) 28年5月期第3四半期 87百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	193.30	—
28年5月期第3四半期	37.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	19,640	5,080	24.4	3,305.20
28年5月期	18,109	4,847	25.4	3,138.74

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 4,800百万円 28年5月期 4,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	40.00	40.00
29年5月期	—	0.00	—		
29年5月期(予想)				45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年5月期の連結業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,650	12.5	830	25.0	560	27.9	325	41.3	221.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	1,480,000株	28年5月期	1,480,000株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	27,587株	28年5月期	12,878株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	1,465,593株	28年5月期3Q	1,467,180株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等について）

現時点で得られた情報に基づき算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は業況の変化などにより業績予想と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年6月1日～平成29年2月28日)における東海地域の経済は、海外経済・為替動向の先行き不透明感を抱えながらも回復を続け、輸出は緩やかに増加し、設備投資は大幅に増加しました。また個人消費は、雇用環境が改善する中で緩やかに持ち直しました。産業全体は活性化してきており、多くの業種で人手不足が問題となってきました。

当地域の不動産業界においては、名古屋圏の都市部を中心として商業地・住宅地ともに地価上昇が続いておりませんが、住宅地の上昇幅は縮小しました。愛知県の新設住宅着工戸数は、前年同時期と比べて増加しており、住宅ローンの低金利等に支えられた需要環境の下、住宅市場の持ち直し基調は緩やかに続いております。特に分譲戸建住宅市場は堅調に推移しております。

このような状況下、当グループの主力事業である分譲住宅事業では、前期から引き続き、事業工期短縮とコストダウンを最重要課題として進めました。また、集成材製造・プレカット加工を行う岐阜工場を中心とした建設資材事業では、製造・物流コストの低減活動を進めるとともに販売先の拡大に注力してまいりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

#### ① 住宅事業

戸建分譲住宅の開発・販売を主力事業とし、住宅建設資材の製造・販売も行っております。前年同期と比べて、販売効率が向上したことと住宅建築のコスト改善活動が進んだこと、および建設資材の外販量が増加したこと等により、売上高は18,512百万円(前年同期比12.8%増)となり、セグメント利益は、コストダウンを進めたため732百万円(前年同期比538.2%増)となりました。

#### ② AM事業

ゴルフ場並びに公共施設の運営管理及び施設管理を行っており、業績は概ね計画どおり進捗しました。売上高は1,300百万円(前年同期比6.6%増)、セグメント利益は329百万円(前年同期比3.3%増)となりました。

#### ③ 都市事業

収益型不動産の開発並びに施設等の維持管理等を行っております。当第3四半期連結累計期間では物件の売却を行わなかったため、売上高は196百万円(前年同期比65.3%減)、セグメント損失は17百万円(前年同期は68百万円の利益)となりました。

#### ④ その他の事業

その他の事業における外部顧客への売上高は218百万円(前年同期比85.4%減)、セグメント利益は27百万円(前年同期比88.2%減)となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結累計期間の売上高は20,143百万円(前年同期比2.8%増)、営業利益は647百万円(前年同期比93.2%増)、経常利益は465百万円(前年同期比172.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は283百万円(前年同期比411.0%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、たな卸資産の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して1,530百万円増加し、19,640百万円となりました。

#### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、借入金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して1,296百万円増加し、14,559百万円となりました。

#### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、利益剰余金の増加を主な要因として前連結会計年度末と比較して233百万円増加し、5,080百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月13日付の連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

a 定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して計上する方法によっております。

b 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,057,523	3,998,695
受取手形	3,584	—
完成工事未収入金	55,095	5,295
売掛金	252,717	328,791
販売用不動産	5,491,623	4,712,256
仕掛販売用不動産	4,120,405	5,762,802
未成工事支出金	801,329	1,516,434
商品及び製品	197,779	216,184
仕掛品	72,429	104,378
原材料	359,102	236,443
その他	554,087	544,761
流動資産合計	15,965,677	17,426,044
固定資産		
有形固定資産	1,728,281	1,791,210
無形固定資産	128,919	130,072
投資その他の資産	286,993	292,902
固定資産合計	2,144,194	2,214,186
資産合計	18,109,872	19,640,230
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	999,268	1,201,590
買掛金	229,264	371,264
1年内償還予定の社債	109,000	153,400
短期借入金	6,420,882	6,719,974
1年内返済予定の長期借入金	1,308,988	1,113,432
未払法人税等	99,163	49,222
賞与引当金	108,595	45,855
完成工事補償引当金	169,841	169,455
その他	611,463	659,159
流動負債合計	10,056,466	10,483,353
固定負債		
社債	79,000	333,300
長期借入金	2,071,194	2,787,144
退職給付に係る負債	446	478
役員退職慰労引当金	130,600	136,216
資産除去債務	15,931	16,059
その他	908,778	802,708
固定負債合計	3,205,950	4,075,907
負債合計	13,262,416	14,559,260

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	279,125	279,125
資本剰余金	279,908	279,908
利益剰余金	4,066,135	4,290,750
自己株式	△21,033	△51,330
株主資本合計	4,604,134	4,798,452
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	782	2,092
その他の包括利益累計額合計	782	2,092
非支配株主持分	242,538	280,424
純資産合計	4,847,455	5,080,970
負債純資産合計	18,109,872	19,640,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
売上高	19,596,386	20,143,224
売上原価	17,188,400	17,371,020
売上総利益	2,407,985	2,772,203
販売費及び一般管理費	2,072,800	2,124,600
営業利益	335,184	647,603
営業外収益		
受取利息	205	20
受取手数料	13,580	12,863
違約金収入	1,600	1,468
その他	26,086	18,809
営業外収益合計	41,471	33,161
営業外費用		
支払利息	175,975	168,892
資金調達費用	—	23,808
その他	29,559	22,480
営業外費用合計	205,535	215,180
経常利益	171,121	465,584
特別利益		
固定資産売却益	206	—
特別利益合計	206	—
特別損失		
固定資産除却損	—	2,974
特別損失合計	—	2,974
税金等調整前四半期純利益	171,328	462,609
法人税等	81,805	141,423
四半期純利益	89,522	321,185
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,084	37,886
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,438	283,299



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	89,522	321,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,531	1,310
その他の包括利益合計	△1,531	1,310
四半期包括利益	87,991	322,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,906	284,609
非支配株主に係る四半期包括利益	34,084	37,886

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	16,400,314	1,217,822	551,296	1,426,953	19,596,386	-	19,596,386
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,532	1,828	14,979	63,659	84,999	△84,999	-
計	16,404,847	1,219,650	566,275	1,490,612	19,681,385	△84,999	19,596,386
セグメント利益	114,821	319,046	68,583	231,318	733,770	△398,585	335,184

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△398,585千円には、セグメント間取引消去3,644千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△402,230千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	住宅事業	AM事業	都市事業	その他の 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高							
外部顧客への売上高	18,511,217	1,299,427	181,380	151,197	20,143,224	-	20,143,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,080	1,182	15,252	67,048	84,564	△84,564	-
計	18,512,298	1,300,610	196,633	218,246	20,227,788	△84,564	20,143,224
セグメント利益	732,830	329,455	△17,568	27,358	1,072,077	△424,473	647,603

(注)1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、生活関連ビジネス等が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△424,473千円には、セグメント間取引消去6,413千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,887千円が含まれています。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。